

平成29年度 全日本少年少女武道（柔道）錬成大会要項

1. 趣 旨

全国の小学生を対象に基本錬成を主眼とし、柔道の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成に資する。

2. 主 催

公益財団法人 日本武道館・公益財団法人 全日本柔道連盟

3. 後援（予定）

スポーツ庁・日本武道協議会・公益財団法人 東京都柔道連盟

4. 主 管

東京都柔道道場連盟・東京都高等学校体育連盟柔道専門部

5. 期 日

平成29年7月30日（日）午前9時開会

6. 場 所

日本武道館 東京都千代田区北の丸公園 2-3

7. 参加人員

- 基本錬成 800名
- 試合錬成 450チーム

8. 参加資格

- 参加する選手は健康上支障ないと認められた小学生であること。団体の監督は（公財）全日本柔道連盟指導者資格B指導員以上の者であること。
※2チーム出場する場合は、1名のAまたはB指導員資格所持者が必ず帯同し、2チーム目以降はCまたは準指導員の帯同でも可とする。

参加する団体は団体登録していること。また、試合錬成に参加する選手は、その団体を通して競技者登録していること（申込書に必ず全柔連メンバーIDを記入のこと）。

本大会に出場するために臨時に編成された団体は認めない。

(2) 基本錬成

㊦ 学年・男女は問わないが、基本的な技術（受身等）を習得している者に限る。

㊧ 参加者は左胸の下に主催者が用意したステッカー（縦8.5cm×横10cm）を横に貼ること（当日受付にて渡す）。

(3) 試合錬成

㊦ 試合は低学年（3、4年生）の部と高学年（5、6年生）の部に分けて行い、チーム数は1登録団体低学年1チーム、高学年1チームまでとする（申込書に必ず全柔連チームID及び監督・選手の全柔連メンバーIDを記入のこと）。

㊧ 選手は必ず決められた学年内（学年適齢）で編成し、体重の軽い選手から配列する（選手5名、監督1名）。2年生以下の参加は一切認めない。

㊨ チーム編成において、選手が5名に満たない場合は、後詰めに配列する(大会中に欠員が出た場合も同様とする)。

㊩ 男女の別は問わないが、試合に習熟している者に限る。

㊪ 一旦提出されたメンバーのオーダーは、基本的に変更を認めない。提出された選手の中で、負傷者が出た場合のみ開会式前まで補充を認める〔㊧㊨を適用する〕。

(4) 同一選手による基本・試合錬成の重複参加は認めない。

(5) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは、感染が判明した選手については、すみやかに医療機関で治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。

(6) 脳震盪（のうしんとう）の対応について、選手および監督は下記事項を遵守すること。

㊦ 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

㊧ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする〔なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること〕。

㊨ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

㊩ 当該選手の指導者は大会事務局および（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

9. 参加方法

(1) 申 込 方 法

別紙申込用紙に所定事項を記入の上、郵送またはインターネットのどちらかで申し込むこと（併用厳禁）。

◀郵送の場合▶

申込先 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館振興課 柔道係 あて
定形最大（長3）の封筒で郵送のこと。

◀インターネットの場合▶

詳細は、別紙インターネット参加申込受付案内を参照のこと。

新規参加団体は、事前に団体登録を申請すること。

(2) 参 加 費

基本錬成……1人 700円 試合錬成……1チーム 7,000円

同封の銀行振込依頼書で申込締切期日までに送金すること。なお、一旦納入された参加費は一切返金しない。

参加者1名につきプログラム1冊、参加章1個を贈る。

(3) 振 込 先

三菱東京UFJ銀行 神田支店 普通3817459

コウエキザイダンホウジンニッポン ブドウカントクベツカイケイジユウドウグチ
公益財団法人日本武道館特別会計 柔道口

(4) 申 込 締 切 平成29年5月26日（金）

(5) 申込取消及び登録監督・選手の変更

申込後の参加取消、登録監督・選手を変更する場合は、プログラム掲載締切の都合上、6月23日（金）までに

別紙変更届にて、前記住所日本武道館柔道監督・選手変更係あて送付すること。

(6) 参 加 服 装

選手及び監督は柔道衣（白）着用、「上履き」も持参のこと（怪我及び感染症防止のため）。

※柔道衣（白）を着用していない者は道場内（試合場も含む）には入れない。

柔道衣の下にアンダーウェアを着用することは認めない。

(7) ゼ ッ ケ ン

参加者は背中に、原則として縦20～25cm×横30～35cm程度の大きさの、男子は白地に黒文字で、女子は白地に朱文字で、それぞれ所属の団体名と個人名を記入したゼッケンをつけること。ゼッケンのない選手は参加を認めない。

(8) 団体表示旗（入場式用）

参加団体を表示する旗を持参すること（旗の規格はおおよそ縦150cm×横50cm程度とする）。

※先端のヤリは、取り外すか、丸い物に変えるなど危険防止に努めること。

10. 集合場所及び受付時間

開催日当日、参加団体は会場正面玄関向かって左側のテントに集合し、午前7時15分から8時20分までに受付を終了すること。

8時40分入場行進。9時開会式。午後5時閉会式の予定。

11. 錬成内容

(1) 基本錬成 礼法（立礼・座礼）、模範演武、準備運動、受身、指導稽古。

(2) 試合錬成

㊦ 試合は各試合場ごとにトーナメント方式で行い、勝ち残ったチームがブロック決勝戦を行う。

(4) 2017年1月より国際柔道連盟が施行している国際柔道連盟試合審判規定・国内における少年大会特別規定及び本大会申し合わせ事項による。

12. 表 彰

(1) 全体を16試合場、8ブロックに分け、各ブロックごとに優秀賞（1チーム）、優良賞（1チーム）、敢闘賞（2チーム）の団体に賞状・賞品を、個人に賞状を贈る。

(2) 優秀賞のチームに日本武道館より優秀旗（持廻り）を授与する。

(3) 前年度優秀賞のチームに日本武道館よりレプリカを授与する。

(4) 優秀賞、優良賞入賞者は表彰式に参加のこと。敢闘賞の表彰は確定次第行う。

13. 安全対策

安全管理には万全を期すが、大会中万一事故が発生した場合は、医師または看護師により応急処置を施す。病院等で診療を受けた場合は、主催者が保険の範囲内で初診料を負担する。健康保険証（コピー可）を持参のこと。

なお、日本武道館では武道大会傷害保険に加入している。

14. 注意事項

(1) 出場選手の学年・体重詐称については団体失格とし、以後出場停止処分とする。

(2) 大道場には柔道衣を着用した選手・監督以外は入場できない。

15. そ の 他

(1) 宿泊等の斡旋業務を下記旅行業者に委託している。詳細は別紙参照のこと。

近畿日本ツーリスト株式会社 トラベルサービスセンター東日本「全日本少年少女武道錬成大会」係

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-14-24 西新宿KFビル3階 TEL 0570(064)205 FAX 03(6730)3230

(2) 大会参加団体には7月下旬に大会参加実施要項を送付する。

〔問い合わせ先〕（公財）日本武道館振興課 TEL 03(3216)5134 FAX 03(3216)5117

登録については、（公財）全日本柔道連盟 TEL 03(3818)4199

（土・日・祝日を除く、午前10時～正午・午後1時～午後5時）

以上